

第3部 市民協働プロジェクト

第1章 協働のまちづくりワークショップの概要

■ 協働のまちづくりワークショップ開催の目的と結果

美祢市の新しい総合計画を策定するにあたり、これからのまちづくりを進めていく上で、市民と職員が協働のまちづくりの担い手として活躍できる契機となるよう、市民や職員が参加した協働のまちづくりワークショップを開催しました。

開催にあたり、山口県立大学 教授 小川全夫先生を講師に招聘し、「人口減少・少子高齢社会における市民が主役の協働のまちづくり」と題した講演会を開催し、市民や職員の協働意識の高揚を図るとともに、「協働のまちづくり」に取り組むにあたってのアドバイスを求める機会を設けました。

その上で、参加者を分野ごとのグループに分け、美祢市の様々な課題（強みや弱み）について意見交換し、その解決に向けた協働の取り組みについて提案型の議論により、総合計画（基本計画）へ反映することを目的として、市民協働のまちづくりの取り組みを「市民協働プロジェクト」として取りまとめました。

■ 市民協働プロジェクトの位置づけについて

この「市民協働プロジェクト」は、市民だけの活動や、行政だけが実施する事業として取り決めたものではなく、今後の美祢市のまちづくりを進めていく上で、市民と行政が協力して、できることから主体的に取り組もうとする「提案事項」です。

この貴重なプロジェクトを単なる提案にとどめることなく、今後 10 年間の総合計画を進める上で、しっかりと考慮に入れながら協働のまちづくりの仕組みを構築していくことにより、「美祢」らしい協働のまちづくりの実現を目指します。

ご多忙の中、4ヶ月にわたり合計4回の協働のまちづくりワークショップにご参加いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。
ありがとうございました。

■ 協働のまちづくりワークショップの進行過程

【第1回WS】平成21年2月20日（金）

テーマ：協働のまちづくりを学ぼう！

- ・ 協働のまちづくりについて勉強会
基調講演 講師
： 小川全夫 先生(山口県立大学教授)
- ・ 自己紹介、意見交換 など
テーマ：美祢市の好きな所、嫌いな所



ワークショップ の成果

第1回の成果

- ・ 自己紹介で出された意見



【第2回WS】平成21年3月17日（火）

テーマ：美祢市の『強み』と『弱み』を考えよう！

- ・ 美祢市の「弱み」について
テーマ：美祢市の劣っているところ、問題点など
- ・ 美祢市の「強み」について
テーマ：美祢市の勝っているところ、優位点など
- ・ 発表



第2回の成果

- ・ 美祢市の「強み」と「弱み」



【第3回WS】平成21年4月14日（火）

テーマ：協働のまちづくり活動を考えよう！

- ・ 誰かに取り組んで欲しい
協働まちづくり活動の提案
- ・ 自分たちでできる
協働まちづくり活動の提案
- ・ 発表



第3回の成果

- ・ 協働の取り組みのアイデア



【第4回WS】平成21年5月27日（水）

テーマ：協働のまちづくり活動を提案！

- ・ 取り組みのアイデアをプロジェクトとして分類
- ・ 追加意見や役割分担について整理
- ・ 発表



第4回の成果

- ・ 協働の取り組みをプロジェクトとして整理、提案



基本計画への反映

第2章 市民協働プロジェクト

～協働のまちづくりワークショップより～

協働のまちづくりワークショップによって、3つの部会から、以下に示す9つの「市民協働プロジェクト」が提案されました。

次頁より、各プロジェクトについて掲載します。

観光交流産業部会	きてみーねプロジェクト 164
	おいでーねプロジェクト 164
	ブランド発掘・PRプロジェクト 166
歴史文化教育部会	地域まるごと元気プロジェクト 166
	市民で創るハーモニープロジェクト 168
居住環境部会	花いっぱい 人いっぱいプロジェクト 168
	次世代につなげる、自然いっぱいのプロジェクト ～水の里づくり～ 170
	子どもの笑い声いっぱいプロジェクト 170
	さ み ぜ ろ 5 30 作戦 プロジェクト 172

きてみーねプロジェクト 【観光交流産業部会】

《強み》

- おいしい農作物がある
- 土地が広い、農地が広い、緑地が多い
- 山口県のほぼ中央、アクセス性が高い
- 世界的に有名な観光資源(秋吉台、秋芳洞など)がある

《弱み》

- 観光地なのに暗い、汚い
- 観光資源同士の連携が少ない
- 地域資源(地下資源、農作物など)を生かした取り組みが少ない
- 魅力あるお店がない、PR不足

《目指す姿》

地域にある良いものをきちんと伝えることで、地域への観光交流人口が拡大している。

◆地域資源を活かした交流メニューづくり

- クリーンアップ活動を実施する
- 森林資源を活かしたイベント(ツリーハウスなど)を開発する
- 観光スポットを周遊するルートを開発する
- 農業体験、ファームステイなどを実施する

◆美祢市を全国へ発信する

- 福岡、広島などの都市部で農作物の販売イベントを開催する
- 秋芳洞のPRビデオの作成など、美祢の春夏秋冬を伝えるツールを作成する
- 魅力的なスポット(雲海公園、レストランなど)をPRする
- 観光案内人を育成する

おいでーねプロジェクト 【観光交流産業部会】

《強み》

- 車の移動利便は良い
- 年間100万人の観光客が訪れる
- 空き家が多い(弱みでもある)
- 温もりがある人が多い、せかせかしていない

《弱み》

- 宿泊機能が弱い、宿泊場所がない
- 案内看板など分かりづらい
- 公共交通の便が悪い

《目指す姿》

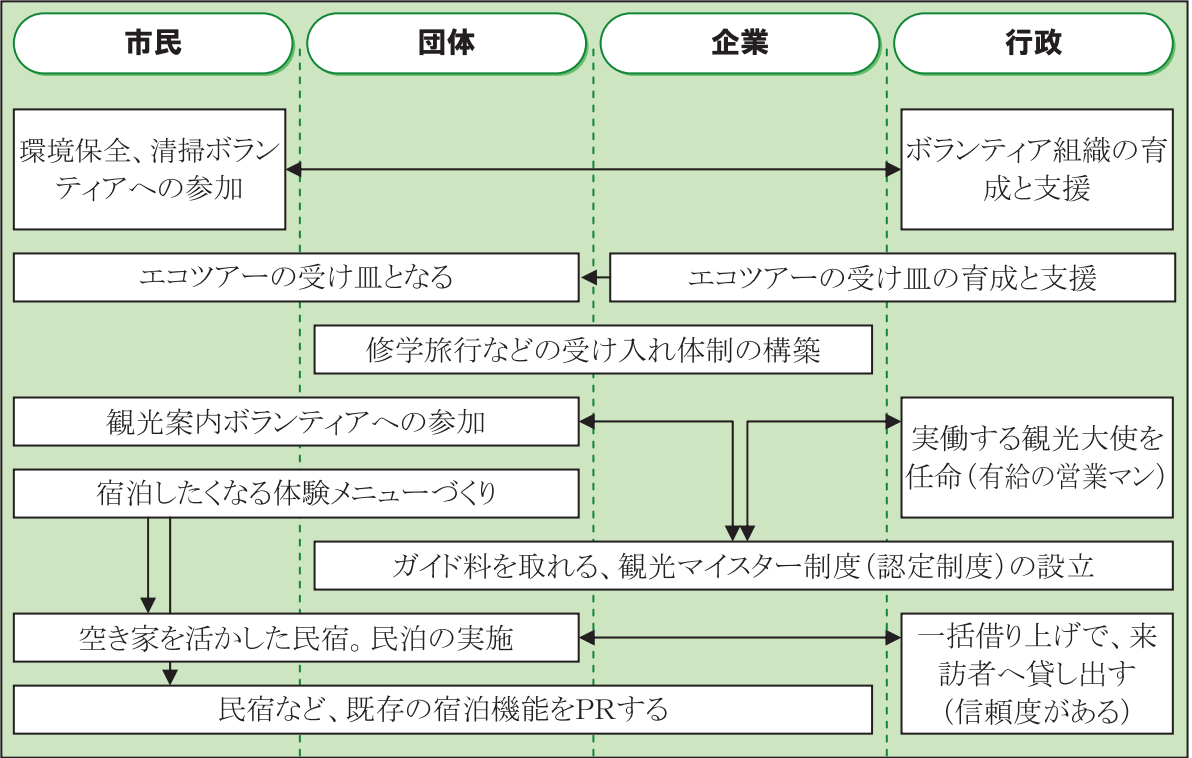
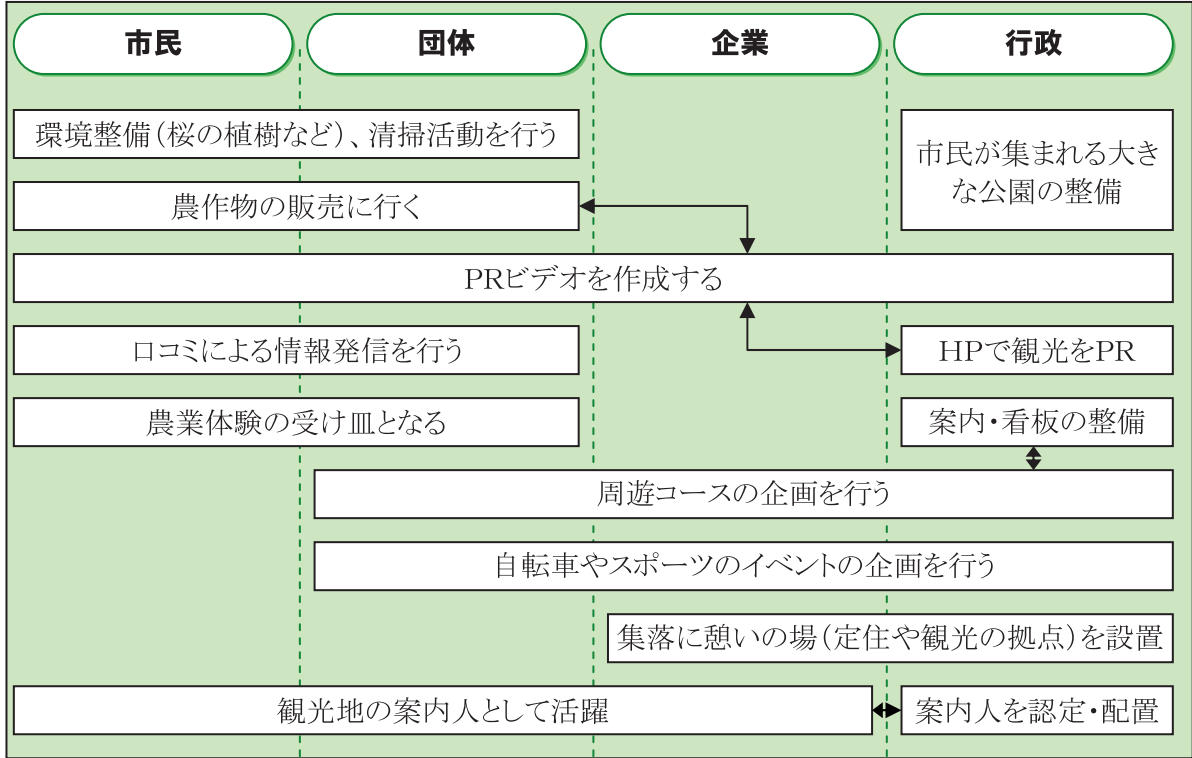
観光交流人口の拡大へ向けた、受け入れ体制の育成と連携が強化されている。

◆観光交流人口の受け皿づくり

- 環境保全、清掃ボランティアを確保する
- 観光案内ボランティアを認定制にし、ガイド料を取れる仕組みにする
- エコツアー、グリーンツアーの受け皿を育成する

◆地域・集落における宿泊機能づくり

- 空き家の活用などについて集落単位で有効活用について協議する
- 民宿、民泊などの受け入れ体制を整備する
- 既存の民宿などの情報を発信する
- 大型ホテルを誘致する
- 老朽市営住宅の活用



ブランド発掘・PRプロジェクト 【観光交流産業部会】

《強み》

- おいしい農作物がある
- 農作物は小さな特産品(ブランド)
- 鱒の養殖
- 年間 100 万人の観光客が訪れる

《弱み》

- 郷土料理が無い
- 地域資源(地下資源、農作物など)を活かした取り組みが少ない
- 魅力あるお店がない、PR不足

《目指す姿》

地域にある優れたものを売り出し、産業が活性化している。

◆地域資源を活かしたブランド品づくり

- 大理石など活かしたお土産品を開発する
- 若者を交えたお土産開発の場をつくる
- 欲しくなる、買いたくなるものを創る
- 水を売る

◆農作物を活かした「食」づくり

- 郷土料理コンテストを開催する
- 地域の料理を持ち寄り美祢の「食」とするなど郷土料理を創造する
- 田舎レストランを開設する

◆遊休土地の活用

- 工業団地の空用地について宅地の細分化や税制優遇を設けて分譲を促進する
- 企業倒産後の宅地を活かす施策を検討する

地域まるごと元気プロジェクト 【歴史文化教育部会】

《強み》

- 先生や達人が多い
- 元気な高齢者が多い
- 地域活動や伝統が引き継がれている

《弱み》

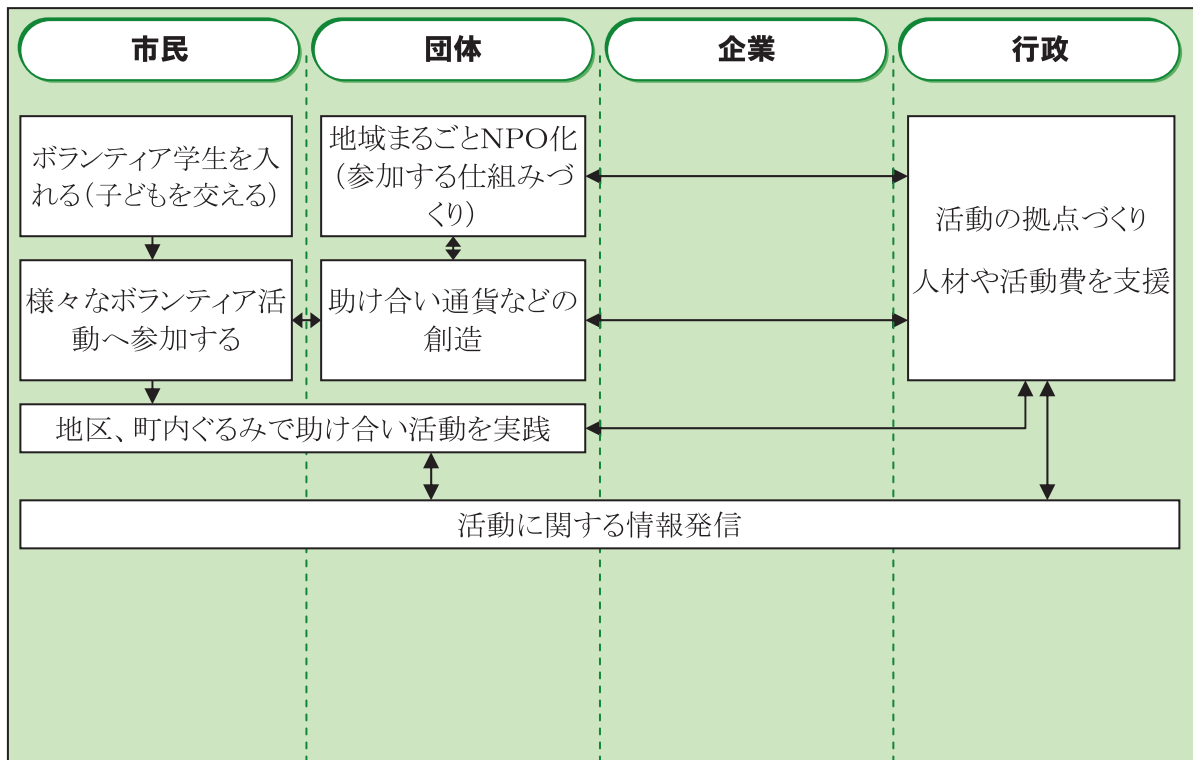
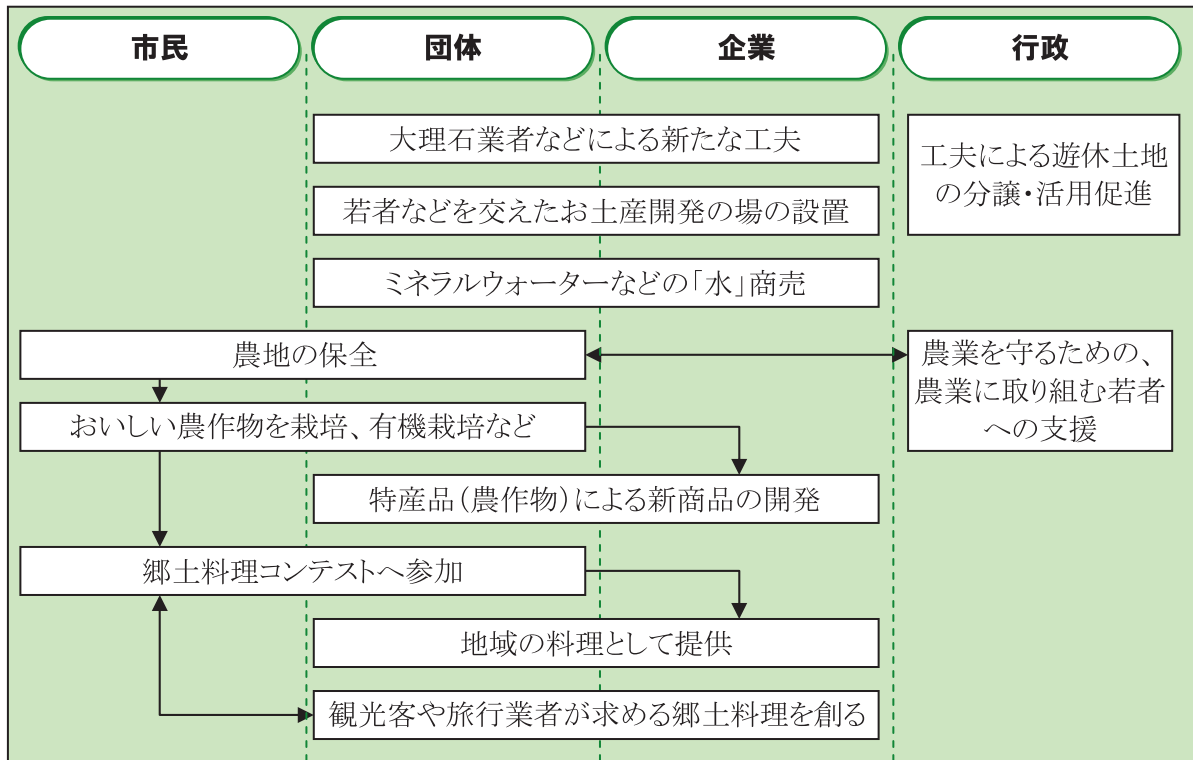
- 高齢者にとって住みにくい(交通)
- 過疎高齢化(自然保護活動などが困難)

《目指す姿》

笑顔があふれる「おかげさまで」が自然に言える地域。地域の団結力が増加している。

◆地域での助け合い

- 地区、町内ぐるみで、高齢化の進行する地区の清掃など、手助けを行う
- 地区、町内ぐるみで、子育て支援を行う
- NPO組織などを立ち上げ、地域ぐるみの助け合いを進める仕掛けを設ける



市民で創るハーモニープロジェクト【歴史文化教育部会】

《強み》

- 地域活動や伝統が引き継がれている
- 歴史を学ぶ題材が多い
- 地元の人はまだ知らない素材がある
- 化石の宝庫
- 歴史・文化が充実、指定文化財が多い

《弱み》

- 文化施設の不足
- コンサート開催時の収容人数能力が低い
- 新しい文化を感じる手段・機会が無い
- 合併地域における市民間の交流機会が少ない

《目指す姿》

全市民が全市内に対して、「誇り」も出る、「愛（郷土愛）」をもっている。市民の「やる気」と「元気」が出ている。

◆市民でできる音楽文化づくり

- 市民オーケストラ、合唱隊、コンサートなどのリーダーを発掘する
- 市民オーケストラを設置する

◆秋吉台などを市民が知る・守る仕組みづくり（市民の文化・誇りづくり）

- 出前授業による、市民講座や観察会の開催
- 地域の高齢者を活かした生涯学習の実施

◆地域を知るための場や人材の活用

- お寺を借りて寺子屋を展開する
- 廃校を利用したそばフェスタを開催する

◆情報の発信

- 市内めぐりバスツアーを実施する
- エコツアーを活性化させる

花いっぱい 人いっぱいプロジェクト【居住環境部会】

《強み》

- 高齢者が元気
- 住むには良いところ
- きれいな空気と水
- 他には無いカルスト台地、秋芳洞

《弱み》

- 若者にとっての魅力不足
- 川に葦が生え汚い
- 商業を中心とした中心市街地の形成が難しい

《目指す姿》

「サクラのまち」をつくる。（美祢=サクラのイメージ）観光地、商店街の活性化、化石と花のまちになっている

◆市民の力で桜の植樹

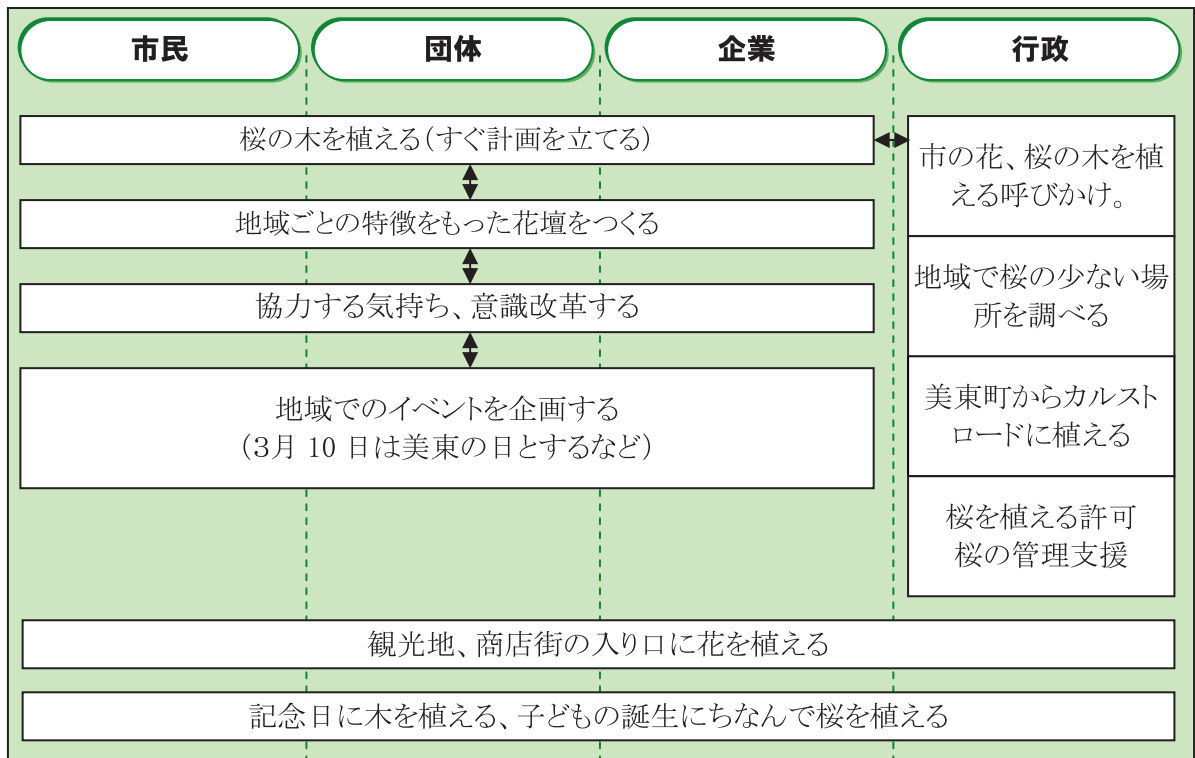
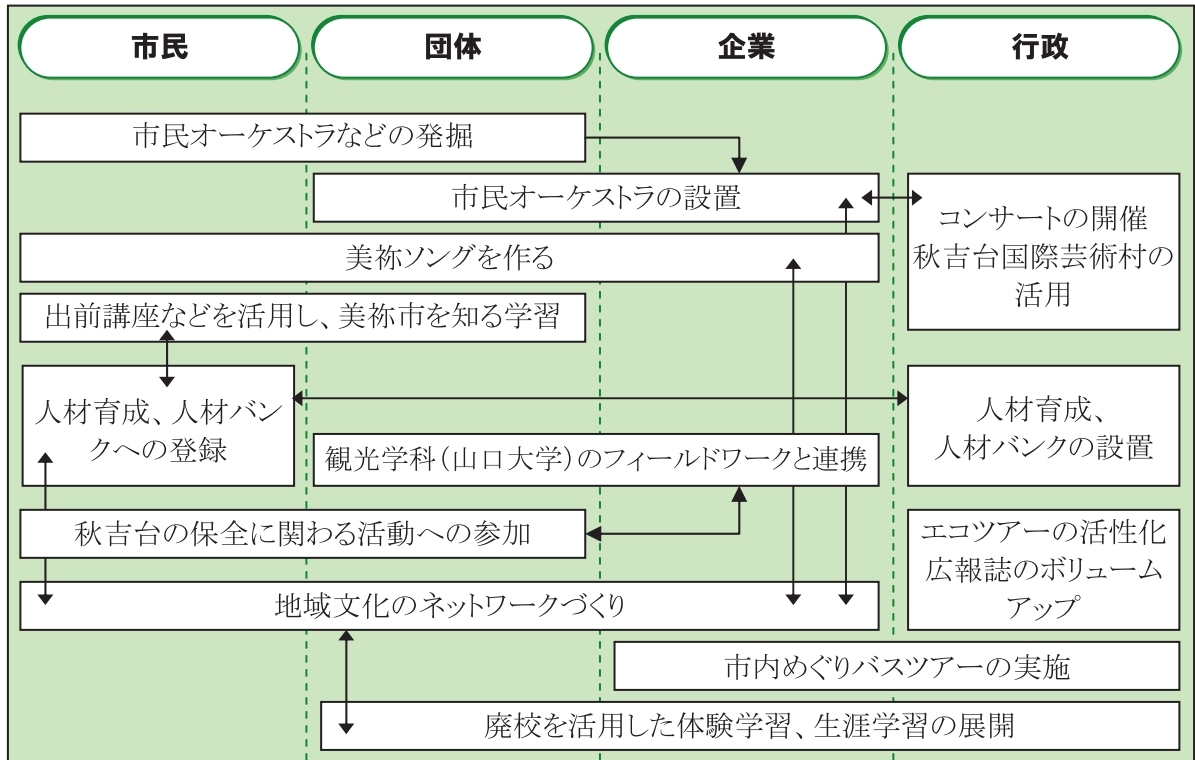
- 計画を立てて、桜の木を植える
- 自分の住むまちを花で美しくする
- 美祢市の花、桜を河川に植える

◆花壇づくり

- 地域ごとに特徴を出し花壇をつくる
- 「万木の花・桜」をキーワードに市民との協力で活性化させる

◆地域でのイベントを企画

- 3月10日はミトウの日とする
- イベントを通じて協力する気持ち、意識改革を図る
- 観光ルートを確保する



次世代につなげる、自然いっぱいのプロジェクト ～水の里づくり～【居住環境部会】

《強み》

- きれいな空気と水
- 秋吉台を中心とした自然環境の保全
- 他には無いカルスト台地、秋芳洞

《弱み》

- 川に葦が生え汚い
- 中山間地での不法投棄
- 公共下水道の整備が市の中心部のみ

《目指す姿》

生活環境の整ったまちづくりを協働でつくりあげる。水・河川に付加価値をつける。下流の市民に川文化を知ってもらう(宇部、小野田の住民を川をテーマに巻き込む)

◆川をきれいにしよう

- 地元の河川掃除をする
- 川に生えている葦を伐採する

◆環境に配慮しよう

- my 箸を使う
- ホタル祭りができるよう河川を整備する
- 森林の間伐・管理をする

◆水売り出す

- 美祢市を水源とする下流域の自治体から水源涵養税を徴収する
- ダム水面を活用する(ボート使用、人材育成)

子どもの笑い声いっぱいプロジェクト【居住環境部会】

《強み》

- 住むには良いところ
- 公民館行事などの協力体制
- 登校時の交通安全の取り組み
- 学校と地域の一体化
- 周辺都市へ行きやすい

《弱み》

- 道路は良いが、公共交通は不便
- 地域が広域で、集落が分散
- 若者にとっての魅力不足
- 若者にとって働く場所が少ない

《目指す姿》

若者が住んでいる。子どもに愛着をもっている。

◆生活環境の整備

- 生活道の環境整備を進める
- 街灯を整備する
- 空家・空地を公園に整備する
- 下水道、合併浄化槽の設置(整備)を促進する

◆交通利便性の改善

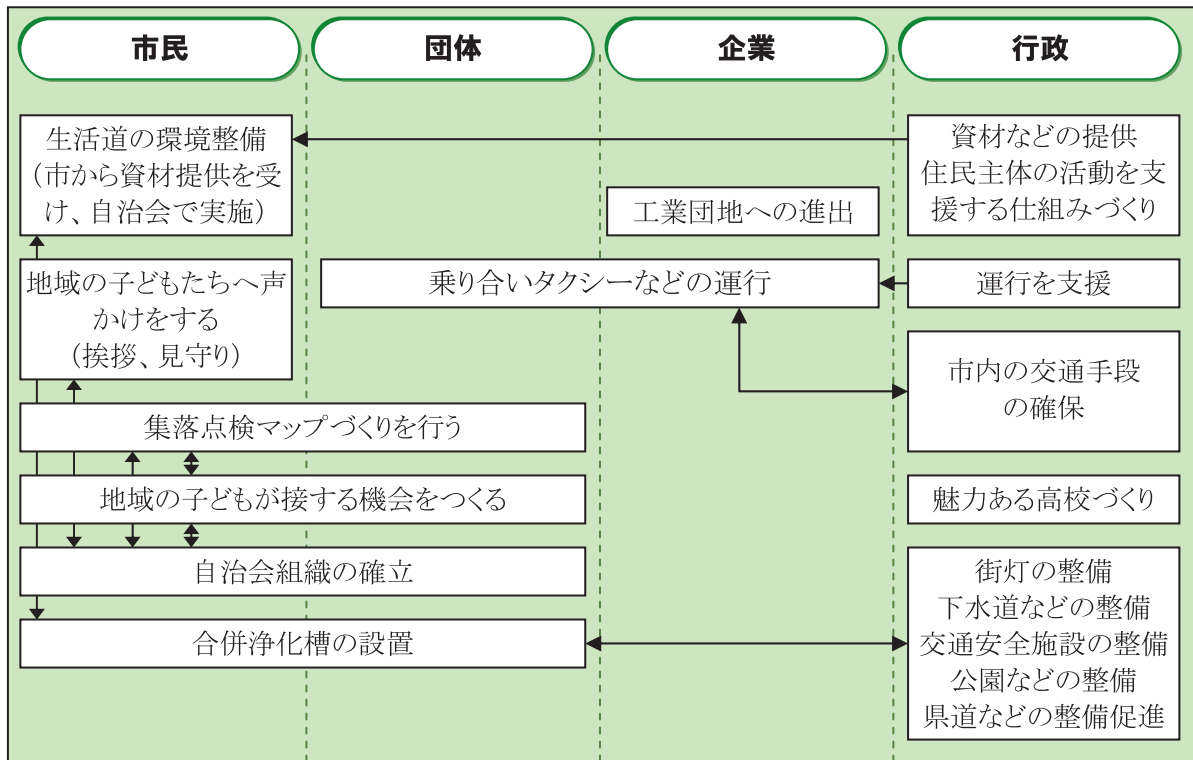
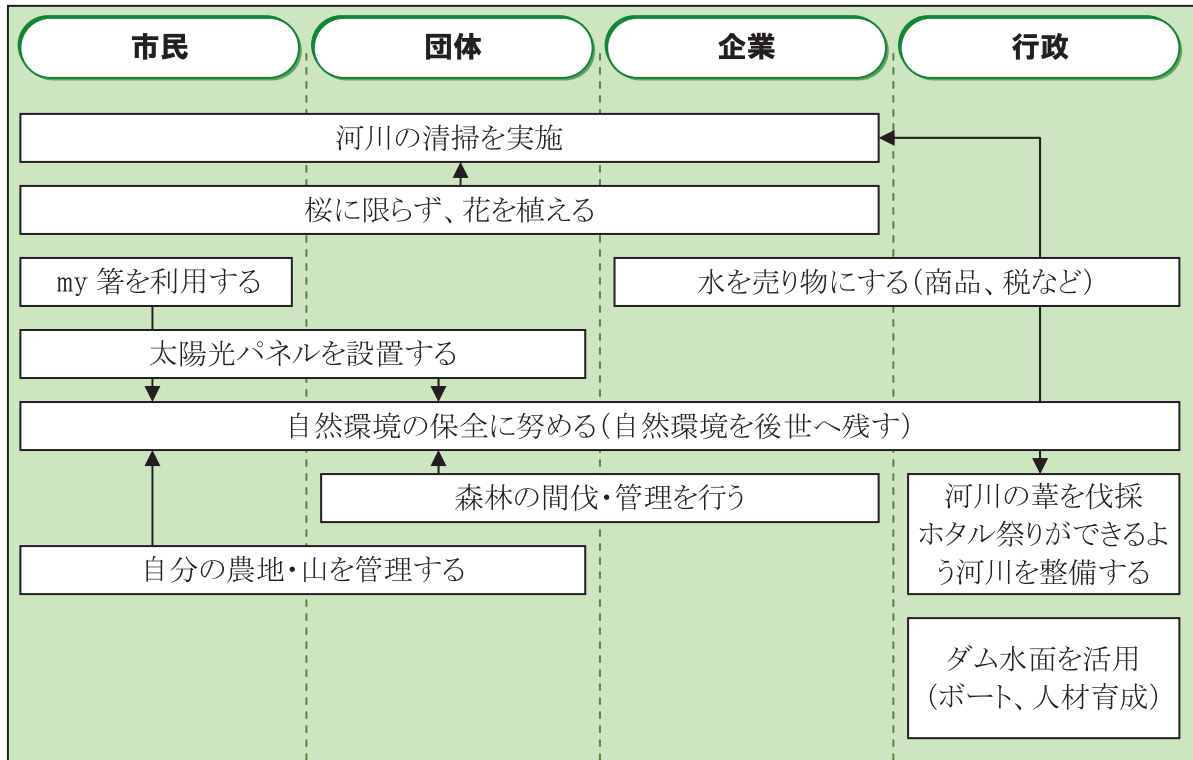
- 市内を移動できる交通手段を確保する
- 乗り合いタクシーを運行する

◆地域の子どもの守る・育てる

- 地域の子どものに接する機会づくりに取り組む
- 集落点検マップづくりを行う
- 自治会組織の確立を図る

◆雇用の創出

- 未利用団地(工業団地)の活用促進



ごみゼロ
5 30 作戦プロジェクト【居住環境部会】

《強み》

- 公民館行事などの協力体制
- 学校と地域の一体化
- きれいな空気と水
- 秋吉台を中心とした自然環境の保全

《弱み》

- 地域が広域で、集落が分散
- 中山間地での不法投棄

《目指す姿》

5月30日はみんなで清掃する日にする。ごみのないまちづくりを進める。

◆ ゴミ拾いなど美化活動を実施する

- 5月30日はゴミを拾う
- 清掃日以外の日もゴミを拾う
- 幹線道路のゴミを拾う
- 道路の空き缶を拾う
- 公園の草刈りを行う

◆ 不法投棄などの抑制

- ゴミの不法投棄を防止する
- 美化グループの創設
- 看板による抑制は逆効果

